



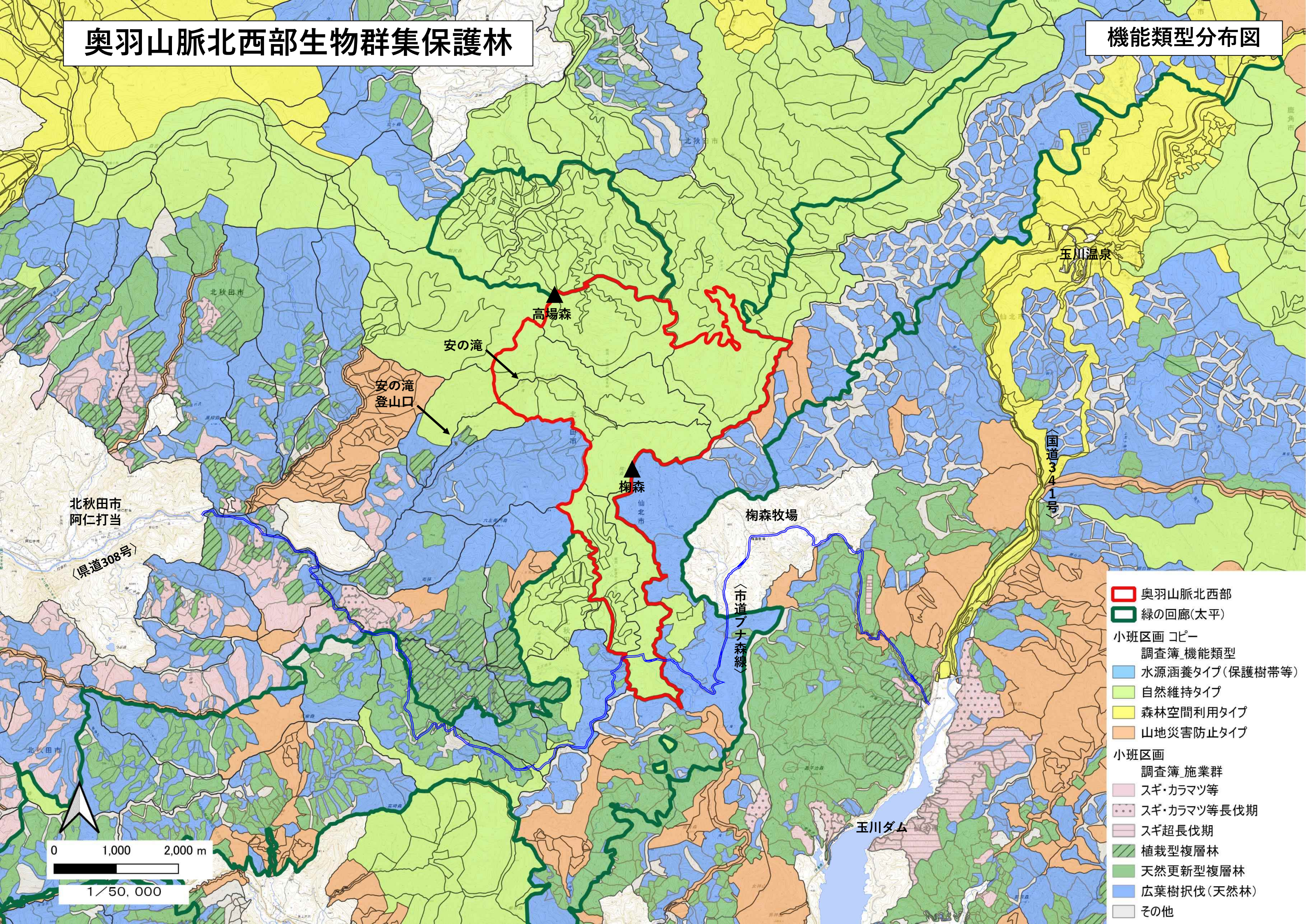
奥羽山脈北西部生物群集保護林		設定目的等	位置図(●)
所在地	秋田県北秋田市・仙北市	<p>東北地方を南北に縦貫する奥羽山脈北西部の八幡平から西方に派生した支脈にあって、森吉山の南東側に位置し、緩やかな台地状の山地となっている。標高約800～1,000m程度の高海拔地にブナ林、天然スギ林、クロベ・キタゴヨウ林、低木林、中間湿原等がモザイク状或いは混交して地域的にまとまって発達して国内では他に例がなく、学術的にも貴重な地域であることから、この区域の生物群集を保護・管理するため生物群集保護林に設定する。</p> <p>なお本保護林は、この区域の森林生態系に係る生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存し、遺伝資源の今後の利用に資することを目的として設定された「奥羽山脈北西部森林生物遺伝資源保存林」から移行したものである(平成29年4月1日時点で統合、増減はなし)。</p>	
面積・管轄森林管理署	1,191.18ha (米代東部森林管理署上小阿仁支署:1,061.85ha、秋田森林管理署:129.33ha)		
設定・変更年	設定:昭和47年4月1日 変更:平成29年4月1日(再編)		
保護林概況写真		保護林の概要等	
 <p>桃洞・佐渡のスギ原生林</p>		保護・管理及び利用に関する事項	自然の推移に委ねることを基本とし、施業等を必要とする場合には、管理経営の指針に基づき行うこととする。
		モニタリングの実施間隔及び留意事項	5年ごとにモニタリング
		法令等に基づく指定概況	水源かん養保安林、鳥獣保護区(特、普)、史跡名勝天然記念物、特別母樹林、森吉山県立自然公園(2特,3特)
		その他留意事項	<p>昭和47年4月1日に米内沢営林署及び阿仁営林署(現上小阿仁支署)において桃洞・佐渡スギ天然林学術参考保護林が、昭和48年4月1日に生保内営林署(現秋田署)において湯の森佐渡スギ天然林学術参考保護林がそれぞれ設定され、平成5年4月1日の第1次施業管理計画で桃洞・佐渡スギ植物群落保護林、湯の森佐渡スギ植物群落保護林にそれぞれ再編された。</p> <p>一方、昭和61年に阿仁営林署(現上小阿仁支署)において生物遺伝資源保存林第1種保存林(秋田スギ5、秋田キタゴヨウ・ネズコ6)に設定され、平成元年の通達改正により林木遺伝資源保存林(佐渡スギ、ブナ森キタゴヨウ・ネズコ)に再編された。</p> <p>平成10年2月26日にこれらを統合の上で拡大して奥羽山脈北西部生物遺伝資源保存林が設定された。その後、平成29年に奥羽山脈北西部生物群集保護林に再編された。</p>
		直近のモニタリング調査年度・結果概要等	
		<p>【平成30年度 調査項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林調査 ・動物(哺乳類・鳥類)調査 <p>ブナの実生や幼小木が増加して後継樹の順調な生育が確認され、概ね良好に保護・管理されている。</p>	

項目	参照資料	所見
周辺の森林施業の現況	機能類型分布図	本保護林の周辺には、自然維持タイプ、山地災害防止タイプ及び水源涵養タイプの3類型が分布し、北側の一部と東から南側一帯には『八幡平太平山緑の回廊』が接続している。保護林の北側一帯と南側の一部に自然維持タイプの天然林、東側の一部に山地災害防止タイプの天然林が分布する。南側は広く水源涵養タイプのうち広葉樹採伐施業群の天然林が広がり、保護林の周囲で皆伐を行う人工林は存在しない。
法令制限・利用等の現況	機能類型分布図 自然公園分布図 衛星画像・現況写真	保護林一帯は水源かん養保安林で、柵森を含む北側一帯が『森吉山鳥獣保護区』に設定されており、一部は特別保護地区に指定されている。また、高場森周辺と柵森周辺は史跡名勝天然記念物『桃洞・佐渡のスギ原生林』に設定されており、そのうち北側の一部は特別母樹林に指定されている。また、保護林の大部分が森吉山県立自然公園の第2種及び第3種特別地域に指定されている。保護林内には『日本の滝百選』に選定されている『安の滝』があり、川沿いに滝へ至る登山道が整備され、多くの登山者に利用されている。一方、『桃洞・佐渡のスギ原生林』を巡る登山道も整備されていたが、登山口に至る車道・登山道ともに荒廃しており、利用者は少ない。保護林の南端には市道ブナ森線(一車線の舗装路)が横切っているが、交通量は僅少である。
植生に関する現況	植生図	保護林の大部分はチシマザサ-ブナ群団とスギ-ブナ群団で、一部にクロベ-キタゴヨウ群落やヒメヤシャブシ-タニウツギ群落、オオバクロモジ-ミズナラ群集が生育するほか、自然裸地や湿地が点在する。

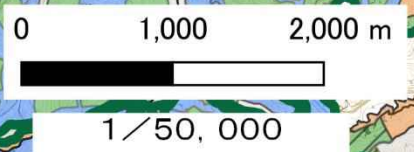
地帯区分(案)	<p>保護林の周辺については、森林の現況に急激な変化を与えないことを旨とした機能類型や緑の回廊等に指定されており、急激な環境の変化を及ぼすような施業を実施する林分は無く、緩衝帯としての役割が期待できる。</p> <p>保護林内の植生については、大部分がまとまったブナとスギの天然林であり、一体的に保存することが望まれる。</p> <p>以上から、保全利用地区は設定せず、保護林区域全域を保存地区とする。</p>
---------	---

奥羽山脈北西部生物群集保護林

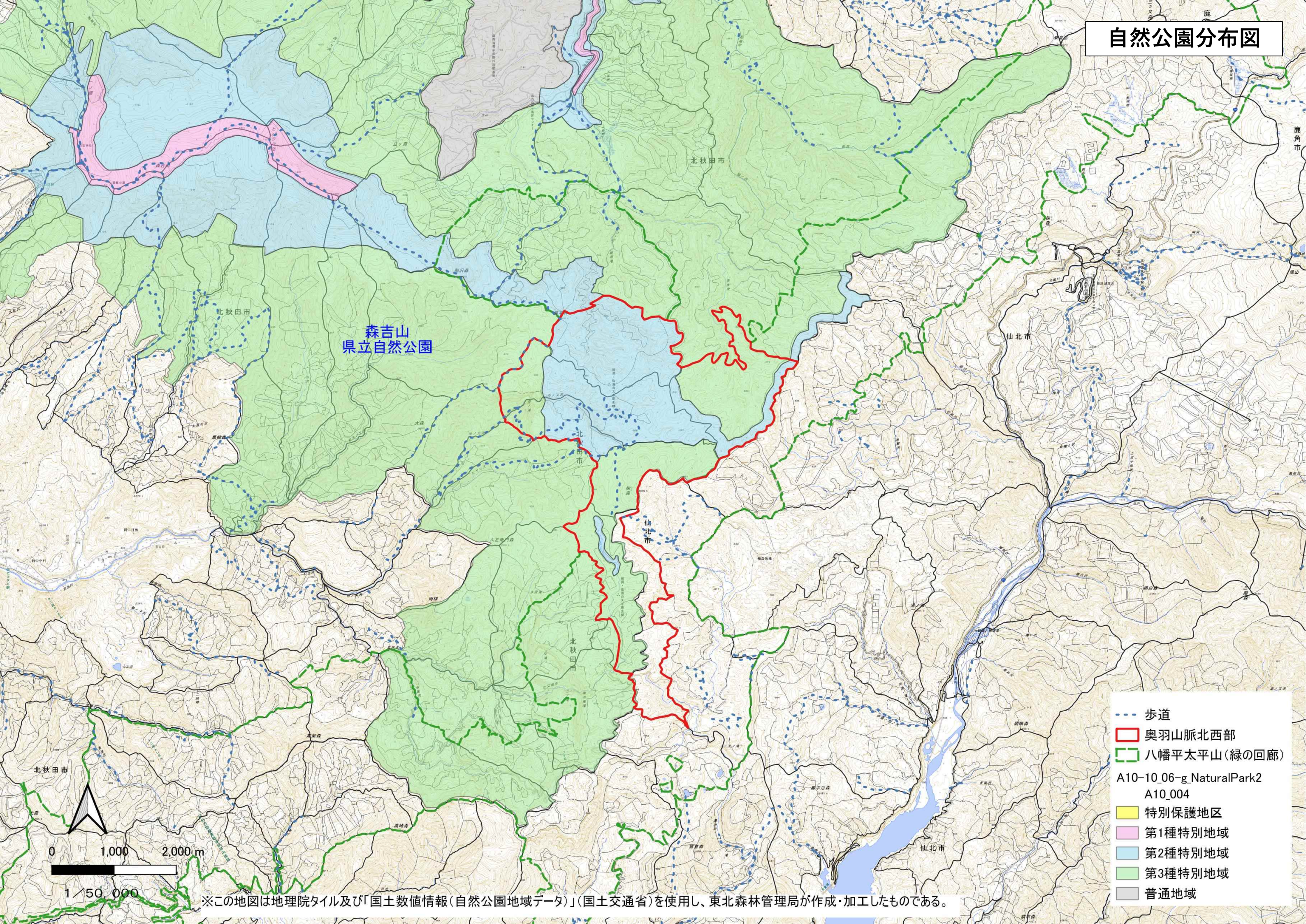
機能類型分布図



- 奥羽山脈北西部
- 緑の回廊(太平)
- 小班区画 コピー
調査簿 機能類型
- 水源涵養タイプ(保護樹帯等)
- 自然維持タイプ
- 森林空間利用タイプ
- 山地災害防止タイプ
- 小班区画
調査簿 施業群
- スギ・カラマツ等
- スギ・カラマツ等長伐期
- スギ超長伐期
- 植栽型複層林
- 天然更新型複層林
- 広葉樹択伐(天然林)
- その他



自然公園分布図



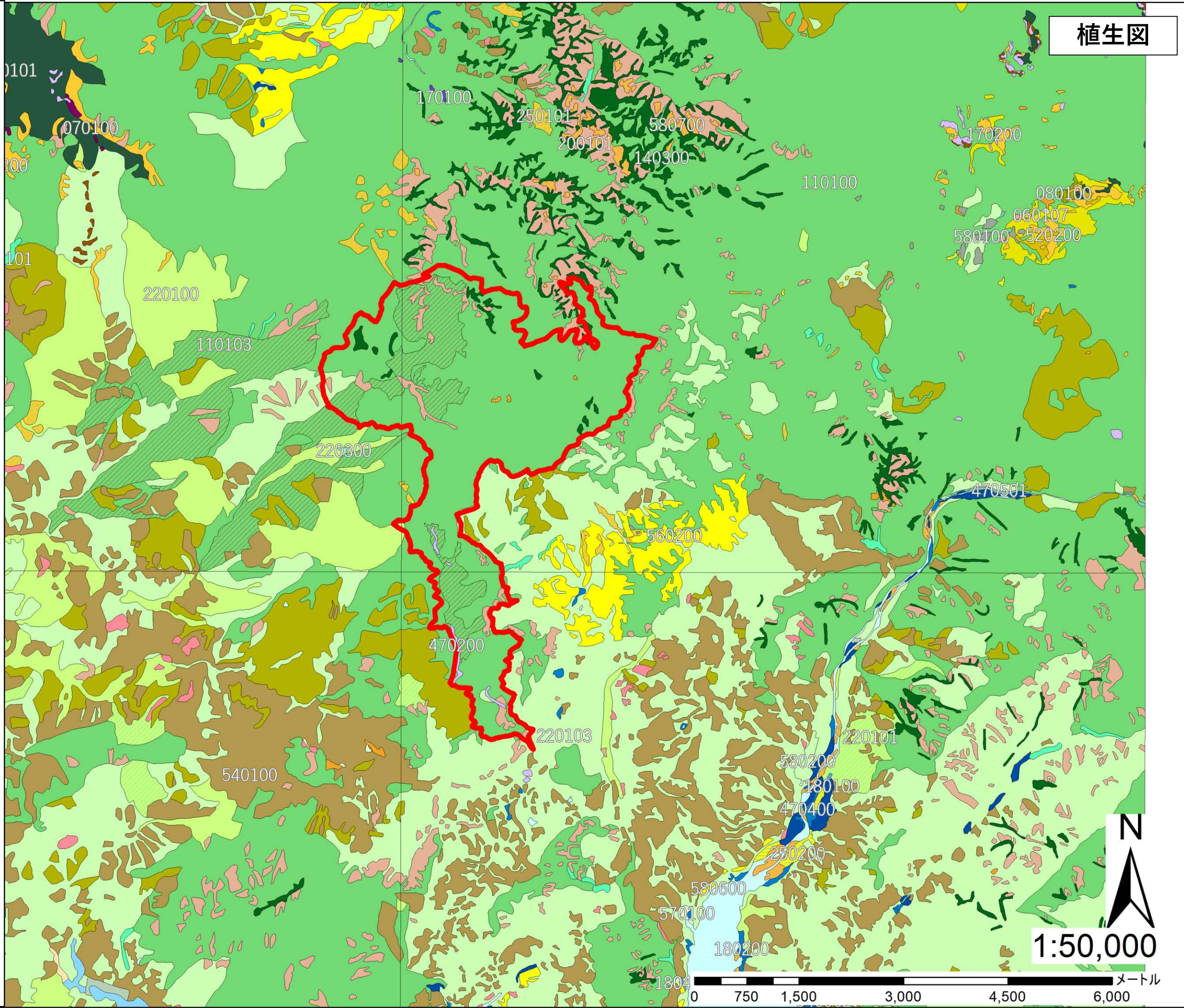
森吉山
県立自然公園

- 歩道
- ▭ 奥羽山脈北西部
- ▭ 八幡平太平山(緑の回廊)
- A10-10.06-g NaturalPark2
A10_004
- ▭ 特別保護地区
- ▭ 第1種特別地域
- ▭ 第2種特別地域
- ▭ 第3種特別地域
- ▭ 普通地域

※この地図は地理院タイル及び「国土数値情報(自然公園地域データ)」(国土交通省)を使用し、東北森林管理局が作成・加工したものである。

植生図

- 010101コケモモハイマツ群集
- 030000雪田草原
- 050101オオシラビソ群集
- 050104コメツガ群落
- 060107ササ-ダケカンバ群落
- 070100シナノキバイ-ミヤマキンポウゲ群団
- 070200ササ群落(II)
- 080100ダケカンバ群落(III)
- 110100チシマザサ-ブナ群団
- 110103スギ-ブナ群落
- 140300クロベ-キタゴヨウ群落
- 160101ジュウモンジシダー-サワグルミ群集
- 160400ケヤキ群落(IV)
- 170100ヤチダモ群落
- 170200ハンノキ群落(IV)
- 180100ヤナギ高木群落(IV)
- 180101オオバヤナギ-ドロノキ群集
- 180103シロヤナギ群集
- 180200ヤナギ低木群落(IV)
- 180400ヤマハンノキ群落
- 190100ウラジロヨウラク-ミヤマナラ群団
- 200101ヒメヤシャブシ-タニウツギ群落
- 220100ブナ-ミズナラ群落
- 220101スギ-ミズナラ群落
- 220103オオバクロモジ-ミズナラ群集
- 220300ウダイカンバ群落
- 240102タニウツギ-ノリウツギ群落
- 250101チシマザサ-クマイザサ群落
- 250200スキ群団(V)
- 260000伐採跡地群落(V)
- 470100ツルコケモモ-ミズゴケクラス
- 470200ヌマガヤオーダー
- 470400ヨシクラス
- 470501ツルヨシ群集
- 520200硫気孔原植生
- 540100スギ-ヒノキ-サワラ植林
- 540700カラマツ植林
- 540902ニセアカシア群落
- 560100ゴルフ場・芝地
- 560200牧草地
- 570100路傍・空地雑草群落
- 570300畑雑草群落
- 570400水田雑草群落
- 580100市街地
- 580101緑の多い住宅地
- 580200残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
- 580400造成地
- 580600開放水域
- 580700自然裸地



1:50,000

0 750 1,500 3,000 4,500 6,000メートル

※この植生図は、1/25,000植生図GISデータ(環境省生物多様性センター)を使用し、東北森林管理局が作成・加工したものである。

